

救急搬送に関する本人の意思を尊重した合意書

本人氏名： _____ 生年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日
診療録 ID： _____
連絡先電話番号： _____
住所： 神戸市 _____ 区 _____

以下の合意事項は、本人の意思(家族等による本人の推定意思を含む)を尊重した内容であり、医療・ケアチームと本人を支援する家族等を交えた十分な話し合いを踏まえた方針です。心肺停止時には、対応の総合的な判断に、ご配慮をよろしくお願い致します。

合意事項：

本人の現在の疾病が進行し、死期が切迫した状況において、心肺停止が生じた際には、心臓マッサージ等、極めて短期間の延命を目的とした処置は実施しない。

病状の概要：(医学的に回復の見込みがない終末期の状況や、ACP の内容等)

以上の情報を提供致します。

医師の署名： _____ 記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

医療機関の名称： _____

所在地： _____

連絡先電話番号： _____

緊急時電話番号(時間外など)： _____

本人の署名： _____

家族等・支援者の署名： _____

本人との関係： _____

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

家族等支援者の緊急時電話番号： _____

書面作成における留意事項

- ① 本合意書は、記入日時点のものであり、状況に応じていつでも撤回することができます。また、定期的に記載内容の再確認・更新を行ってください。
- ② 本合意は、本人の意思（家族等による本人の推定意思も含む）を踏まえて、ACP（Advance Care Planning, 人生会議）の一環として成される必要があります。
- ③ 本合意書における「死期が切迫した状況」とは、主治医より近日中に心肺停止が生じうる容態にあると家族等支援者に告げられている状況である。
- ④ 本人の事前の意思、信念、価値観などを探るツールとして、神戸市医師会の「私が大切にしていること（価値観シート）」等をご活用ください。
- ⑤ 家族等の支援者は、この合意書を救急隊が到着時際に提示してください。

書面作成における必須事項

記載医師は以下の内容がすべてなされているかを必ず確認してください。

- 本人の疾病は、現時点で既に死期が切迫した状態である。
- ACP（Advance Care Planning, 人生会議）に基づいた本人の意志、または推定意志である。
- 本人の意思表示、または推定意志表示であり、その内容を、かかりつけ医を含む多職種の関係者や家族等の支援者と共有している。
- 救急搬送・心肺蘇生を希望されない方が急変した場合、救急要請をする前にかかりつけ医や訪問看護師に連絡するよう家族等の支援者に説明した。
- 本人以外の家族等の支援者、キーパーソンを決め、その緊急連絡先を確認した。
- 緊急時における、かかりつけ医への緊急連絡先を伝えた。（診療時間外や夜間、休日を含めた連絡先）
- 本人・家族等と、医療・ケアチームとの話し合いのプロセスを経時的にカルテに記載し、本文書の複写を添付した。